

100人超で山の手入れを!

●「浦高百年の森」山の手入れ活動!

今日24日は「浦高百年の森」の植栽活動でした。今回は、2月の野鳥観察会と賀詞交歓会でお世話になった埼玉県生態系保護協会春日部支部の三好あき子支部長から「浦高の森がどのような処なのか見て



みたい」とのリクエストを受け、一緒にしました。

朝7時15分に春日部駅西口を出発し、9時15分に風布川沿いにある「日本の里・風布館」【写真①】に到着しました。

例年であれば河原に梅の花が見頃を迎えているのですが、やはり花が遅れていました。早咲きの白梅

の周りに野鳥が見えました。三好さんによれば、甘い蜜を吸うメジロ【写真②: 白梅の蜜を吸うメジロが2羽います】だそうです。その他にコゲラ、シジ



ュウカラ、エナガ、ヒヨドリ、ジョウビタキ、ハシボソカラスなど7種類が見えたそうです。朝10時までは、小鳥たちの朝食時間のように、盛んに鳴き声が交わされるそうです。今まで、何度も訪れているのですが、初めて気がつきました。m(\_ \_)

\*

9時45分、百年の森に到着しました。10時から開会式が行われました【写真③】。

川野幸夫・浦

高会同窓会長から「皆さん、おはようございます。天気を心配していましたが、雨も上がり陽も出てまいりました。森づくりも7年目に入り、見て分かるように山らしくなってきました。春は植栽なのですが、植える場所がなくなり、今回は山の手入れをしていただくようです。山にはたくさんの仕事があるようですので、気を付けて作業をお願いします。」とのご挨拶がありました。続いて、中村修子・浦和一女同窓会長からご挨拶がありました。



今回、春の植栽では珍しく現役浦和一女生3人と浦高生5人が参加してくれました【写真④】。

いよいよ作業です。浦高の森

では、雪で倒れた木をロープで引っ張り直す「雪起こし」、落ち葉等で埋まってしまった「歩道の整備」、案内看板にペンキを塗る「看板補修」、杉林で育成の悪い木を伐る「間伐」、そして間伐材を使った「はしご作り」などを行うことになりました。

私達のグループは、北側の杉林【写真⑤】で間伐です。7年前に60cmだった苗も、今では6m目通り10cmを超えるようになりました。

2人1組で、捻れたり曲がったりしている木をノコギリで伐ります【写真⑥】。

木を伐るには、最初に周囲を見渡し、木を倒す方向を確認します。できるだけ斜面に直角になるような形がベストのようです。木を倒したときに、周囲の木に影響を与えないことと自分の安全を確認することが大切です。

倒す方向が決まったら、受け口を作ります【写真⑦】。受け口とは、倒す側に作る三角の欠き込みです。水平に切り込みを直径の1/3ほど入れます。次に45度の角度で斜めに切り込みを入れて、受け口を切り取ります。続いて、受け口の反対側からノコギリを入れます。これを追い口と言います。追い口は、受け口の間当たりの高さで水平にノコギリを入れていき、1~2cmを残して止めます。この残りの部分をツルといい、これで倒れる時間を調整します。





伐り倒した木は、鉋で皮を剥いていきます【写真⑧】。伐ったばかりの木は鉋で簡単に皮が剥がれますが、どの程度の皮を剥いていけば良いのかが分からず、私の作業はちょっと大ざっぱだったようです。几帳面な方は、磨き丸太に近い状態まで、しっかりと剥かれていました。



＊

### ●楽しみのお昼です！

11時40分、午前中の作業を終了し、5m前後の丸太を担いで山小屋まで戻りました。綿貫さんご夫婦・鍋奉行が作ってくれた「キノコ汁」をいただきながら、昼食を楽しみました【写真⑨：実際はもっと具たくさんです】。



12時30分昼食を終え、内藤勝久・初代森委員長と春日部地区浦高会のメンバーで記念写真です。



【写真⑩：記念写真。右から内藤・初代森委員長、伊藤さん、香田、三好さん、田村さん、石田さん、石塚さん、今回は会員5名参加でした】。

＊

内藤さんから「現在、こうした森づくりが県内で50地区位になると思うのですが、里山には必ず沢があり、そこから小川ができ、河川につながり海につながっているのです、そうした里山の自然環境づくりを増やしたいですね。一昨日の“みどりの埼玉づくり県民提案事業報告会”で発表があった児沢（ちごさわ）探検隊も、児沢の皆さんの森づくり活動が、ちご沢、おっぺ川、入間川、荒川につながって東京湾に注ぎ込んでいると考えてほしいと指摘しました。

小さな森づくりが川を豊かにし、川が海を豊にし、そして海の子を育てて、CO2が大量に作られていくことを感じながら活動に生かしてほしいと思いますね。ぜひ、春日部市でも、近くにある里山や川を大切に活動を増やしてください。」という話がありました。「春日部麗しの杜づくり」を維持拡大することとともに、全市的な展開をしていきたいと思えますね。

＊

### ●少々ごつい「はしご作り」！

午後からは、間伐した杉を使った「はしご作り」です。切り出した杉の木を並べて、長さ2mの支柱を伐ります



【写真⑪】。一对の支柱を作り、50cmの踏ざんを5寸釘で打ち付けていきます【写真⑫】。



完成はした



ものの少しばかりごつく、森で使うには重すぎるそうです【写真⑬】。小室正人・同窓会副会長兼森委員長のお話では、「森で木の枝を下ろすために使うはしごなので、軽くて丈夫なものでなくてはダメ。森の中で、枝を集めてはしごを作り、使い終わったらそこに置いてきて朽ちさせる

ようなもので十分です。」とのことでした。

午後2時15分、すべての作業を終えて、閉会式、全員で記念撮影【写真⑭】を終えて解散しました。

